

中学2年生 ボランティア講演会を実施しました

先日、中学2年生のボランティア講演会についてご報告しました。5月30日（木）には、本校卒業生で JICA に入構した田中真理子さんに、JICA の役割や世界の現状と日本との関わり、ボランティアの意義などについてお話いただきました。生徒たちに Q&A 形式で語りかけ、生徒の意見を引き出しながらの講演となりました。

以下は生徒の感想です。

私は、世界 193 カ国のうち、50 カ国くらいが開発途上国だと思っていました。ですが、実は 153 カ国もの国が開発途上国だと聞きました。もしも世界が 100 人だとしたら、開発途上国の人が 82 人もいるということになります。とても驚きました。こんなにたくさんの同じ年、私たちより年下の子どもたちも、苦しんでいるのかもしれないと思いました。

そして日本がなぜ JICA のような機関で貧しい国々を助けるのか、ということもお話くださいました。JICA は、無償で学校や病院をつくったり、有償でダムなどをつくったりしています。また JICA に勤める人が、日本に貧しい国の人を呼び、日本のことを知ってもらったり、逆に開発途上国に直接向かい、たくさんの人と交流しています。これはつまり世界における助け合いで、日本は震災などで世界から助けられており、JICA の活動もその助け合いの一部だということです。私はこの助け合いの精神はボランティア活動でも同じだと思いました。私はボランティアを「世界を舞台」に行うわけではないけれど、助け合いの精神は小さな日本の中でも大切にしたいと思いました。

